

# 進路通信

5月18日

## 学部・学問情報

### ◆社会学…人間社会における秩序、しくみに注目する

#### 【学問の内容】

社会学とは、個人と個人、集団と集団、あるいは個人と集団など、社会生活のなかでの人間同士の関係のあり方や、社会のしくみそのものを探る学問です。社会学では、「人間社会における秩序とはなにか」ということにまず注目します。友人から国家までを研究対象として、秩序の形成や混乱、変化が生じるメカニズムを解明していくことで、人間と社会の関わり方がより明確になるからです。連帯、協同、対立、競争といった社会的な行動が、「秩序」を研究する際のキーワードとなります。

研究を進める際には、「社会実習」「フィールドワーク」といって理論だけでなく実際に社会に出て、自分で現実の社会状況を調べていく必要があります。また、人口割合などの統計を扱うことも多く、統計処理にはコンピューターを使うなど様々な手法を用いて研究します。

社会学の研究対象は、あらゆる社会の集団や社会関係です。例えば、夫婦の離婚や子供の非行、そして戦争のような問題にまで及びます。社会の動きに応じて研究対象が常に変化していくのも、社会学の大きな特色なのです。

#### 【卒業後の進路】

多彩な研究内容であるため、就職先も幅広い方面にわたっています。なかでもマスコミ志望者が多いが、かなりの難関である。大半は、金融、メーカーなどの一般企業に就職し、マーケティングなどの職種に就く。身につけた調査手法のスキルを生かしてリサーチ会社などで活躍する人もいます。

### ◆心理学…心のメカニズムを科学する

#### 【学問の内容】

心理学は、人間の心のメカニズムを科学的に解明していく学問です。私たちの普段の生活でも、気落ちして食欲がなくなるとか、山に登ってすがすがしい気持ちになるといった例があります。心と体、人間と環境が、互いにどんなふうに影響し合っているのかについて考え、その結果として現われてくる人間の心と行動を、科学的に研究していきます。

心理学は目的や対象によって細かい分野に分かれます。知覚・学習・記憶・思考など人間の基本的な心的機能を研究する「認知心理学」、進化の歴史などから動物の行動を研究する「動物心理学」、心の機能と身体の機能との関係を研究する「神経・生理心理学」、人格の形成過程などを研究する「人格心理学」などがあります。応用分野はさらに広く、社会心理学（集団内の個人や集団での社会的行動の研究など）、臨床心理学（カウンセリング・心理療法の研究など）、犯罪心理学（犯罪・犯罪者の心理の研究など）があります。

#### 【卒業後の進路】

福祉・厚生施設などでのカウンセラーやケースワーカーへの希望が多い。一般企業に就職する人は、人事、教育、広報などへ配置される例もある。また、情報産業に就職し、心理学の研究を生かす人もいます。最近では臨床心理士の受験資格を取得するために、大学院への進学率も高い。